

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令を順守したスペースは勿論のこと、建築寿命法による用途を変更し運動のできるスペースを確保している。基準の2倍以上のスペースとなっています。
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	当事業所のプログラム内容や通所されるお子さまの特性により、緩和を受けている。室内のトイレ前には段差があるが、こうした個所では人的サポートを行うことで配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	療育が終わった後に清掃を行い、清潔を保っている。また基準に満たした空間を提供しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	ヒヤリハット、事故対策、会議議事録、感染対策、虐待防止対策、研修実施議事録、相談苦情、非常災害対策等々の担当者を割り振り、定期的なミーティングを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを毎年1月に実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を今年度には実施し、業務改善に繋げていきたいと考えています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPIに公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	療育に関係のある外部研修には各自積極的に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や活動についての反省点や疑問点をその日の内に改善、解決しています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子や保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。保護者（本人）のニーズは、面談だけでなく毎回のフィードバック時にも申し出て頂いています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

	チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	児発管と保護者の話し合いを行い、適切に選択し具体的な支援内容を設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	毎サービス提供時間前後に計画や目標を確認し支援を行っている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	基本的なプログラムの内容、流れは一緒であるが、同じ内容でもルールを変更したり、アレンジしたりしている。また、定期的に職員で話し合い、子どもの様子や状況により内容を変更するなどしている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っています。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っています。年度替わりのクラス編成時にも、子どもが過ごしやすいクラスになるよう設定し、保護者への説明も行っています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を設け、一日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出しています。記録を必ず残し、休みのスタッフへも情報共有を図っています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）に記入し、次回の支援につなげている。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	契約後、6か月以内に定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	現在はサービス担当者会議が行われていないため参加していないが、担当者会議があれば児発管が参加する予定。将来的には指導員の参加も検討していきたい。
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	現在は行っていませんが、必要に応じて連携した支援を行っていきます。	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。	

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

	チェック項目	改善目標や工夫している点
関係機関や保護者との連携	24 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	特に情報共有を行っていません。必要に応じて保護者の方から依頼などがあれば、情報共有を行っていく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	特に情報共有を行っていません。必要に応じて保護者の方から依頼などがあれば、情報共有を行っていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	必要に応じて東京都・荒川区が運営する公開研修や療育セミナーに積極的に参加し、その中で助言を受けたり、情報収集を行っています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	特に検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。
	29 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	必要に応じて参加しています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識しています。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	ペアレントトレーニングは特に実施していないため、今後、保護者と連携をとり、必要に応じ検討していきたい。また、実施する際は、ペアレントトレーニングの外部研修も受講し、適切な支援に繋げていきたいです。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。また常に質問に答えられるように体制を整えている。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児発管が支援計画を作成・説明を行い同意を得ている。	

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

	チェック項目	改善目標や工夫している点
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会や保護者会は行っていないが、通所時に保護者の見学スペースを設けており、そこで保護者同士で情報交換や相談等を行っています。現在はコロナ禍のため、開催はできていません。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情・要望については、受けた時点で都度対応し早急に改善している。意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置は今後必要に応じ検討していきたいです。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報等は発行していないが、長期休暇に行う特別プログラムの案内や新入社員紹介などは契約者全員に紙面で発信しています。また連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示しています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	運動道具や紙を使用して配慮していますが、それ以外は特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたいです。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類はできており、靴箱の上に置いて周知しているが保護者へ周知はできているが、充分ではないため、周知徹底していく予定。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	定期的に年2回通所の療育中に、全クラスにおいて避難訓練を実施しています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約時に児発管から保護者の方へ聞き取りと、定期的な面談で子どもの変化について確認をしています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについては詳しく聴取しています。当事業所内で食物を口にする「おやつ」ではアレルギー源を含むものは提供していません。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していきたいです。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。スタッフがいつも見える場所にヒヤリハットファイルを置いている。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

	チェック項目	改善目標や工夫している点
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	担当者が東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となり職員に講習しています。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。 今現在、当事業所において拘束等は行われていない。

保護者からの児童発達支援におけるアンケート集計結果（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	0	0	十分な活動スペースがあり、子供たちも活動しやすいと思う	利用人数を調整してスペースを確保しております
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1	0	1	理学療法士・作業療法士がいると良いと思います。	現在、配置の予定はありませんが、適宜検討していきたいと思っております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1	0	1		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	1	0	0	子どもに合わせて支援計画を立てていただいている	保護者様からのお話を聞かせて頂いた内容と、スタッフ感でミーティングを行った内容から、支援計画を今後も作成させていただきます。
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	2	0	1		
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	1	0	1		

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
児 供	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	2	0	2	子どもの特性を理解して頂いて、毎回色々工夫して頂いていると思います。 毎回違う遊びも取り入れてくださり、子供が楽しめるよう新しく興味がわく工夫をされている	お子様の課題に合わせ、プログラムを変更しております。 ルーティン化した方が活動に参加できるお子様には、同じプログラムを行う場合もございます。 ルールが入りづらいお子様には長めに同じ内容を行うこともございます。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	5	8	運動療育では求めている為、無くて大丈夫です。	ご意見を踏まえたくえで今後も検討してまいります。
	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	1	0		
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15	0	0	1		
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1	6	4	息子に有効な家でも取り入れられる遊び等を教えて頂きたいです。	ご相談いただければ幸いです。

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	11	4	1	0	<p>クラスの子どもの人数が少ない時は終了時にクラス内での様子が聞けたが、多い時は聞けないので残念。</p> <p>子供の表情や特性の変化に、とてもよく気がついてくれて、お話ししてくれるのでとてもありがたいです。</p> <p>LINEや連絡帳などの連絡ツールがほしいです。</p> <p>コロナ禍で仕方ないと思いますが参観日等を作って頂けると成長が見えると思います。帰りの際の口頭説明のみでは息子の変化、療育の成果があまり分からないので</p>	活動後に保護者様とのフィードバックの時間を設けさせていただきます。さらに詳しい内容をご希望の場合は、ご相談いただければ幸いです。
	13 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	3	2	1	<p>とても親身になって相談ののっていただけたり、助言を頂けるので私はとても心強いです。</p> <p>相談をすれば、その都度真摯に対応してくれる。</p> <p>今月から通所を始めた為、今後面談等していただきたいです。</p>	6か月に1回の面談を計画。またそれ以外でも通所時に毎回活動後のフィードバックを行っておりますが、ご相談等ございましたら、都度お声がけいただければ幸いです。
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	8	3	<p>保護者同士の情報交換や交流は発達が気になる家庭にとってとても助かるので、コロナ禍で難しいかもしれないが可能な範囲で行われるとうれしい。</p> <p>父母会等へ参加した実績はありません</p> <p>運動療育では求めている為、無くて大丈夫です。</p>	いつでも見学が可能となっております。活動中に保護者同士が関われる場所となっております。 <p>現在はコロナの影響により、見学はご遠慮頂いております。コロナが収束するまでもうしばらくお待ちください。</p>

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
15	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1	1	3	今月から通所を始めた為、まだわかりませんが、今後は相談させていただく際は対応していただくと嬉しいです。 適宜ご相談したことに 対応していただいている	その場での対応を行っておりますが、内容により職員で話し合いをした後に返答出来るよう心がけてまいります。
16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1	1	0		
17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1	4	5		
18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15	1	0	0		
非常時等の対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	2	1	5		
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	0	4		

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	0	1	とても通所を楽しみにしている。通所もよろこんで行っている 子供も親も一番楽しく通っている療育です。 行けば楽しんでやっている	通所時のお子様の表情から確認をはじめ、活動内容に十分に気を付けております。 いつでもお子様が安心して楽しく活動が出来るようにさらに心掛けてまいります。
	22	事業所の支援に満足しているか	12	3	0	1	子どもが自信をつけている。 現在の運動の支援は大変満足しています。 子供に合わせて対応していただいている。 子供の発達より少し難しい遊びを取り入れてくれ、家で母子で遊ぶよりも遊びのバリエーションが増える。先生方が奔走してくださっている。 通うようになって体の使い方がわかってきたようで、変化が見られるようになりました。 子供の特性に寄り添って支援して頂いています。とても満足です。	大変うれしいコメントありがとうございます。 保護者様とのコミュニケーションを大切に、常に課題に取り組める内容に工夫をして参りたいと思います。

事業所における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を順守したスペースは勿論のこと、建築基準法による用途を変更し運動のできるスペースを確保している。基準の2倍以上のスペースとなっています。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	当事業所のプログラム内容や通所されるお子さまの特性により、緩和を受けている。室内のトイレ前には段差があるが、こうした個所では人的サポートを行うことで配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	ヒヤリハット、事故対策、会議議事録、感染対策、虐待防止対策、研修実施議事録、相談苦情、非常災害対策等々の担当者を割り振り、定期的なミーティングを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを毎年1月に実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を今年度には実施し、業務改善に繋げていきたいと考えています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後3年に1回は実施していきたいと考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	療育に関係のある外部研修には各自積極的に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や活動についての反省点や疑問点をその日の内に改善、解決しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。保護者（本人）のニーズは、面談だけでなく毎回のフィードバック時にも申し出て頂いています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っています。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	子どもの発達・成長に合わせ、必要に応じて臨機応変に行っている。また指導員で毎月に行う運動のテーマを決めています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容、流れで実施している。長期休暇期間にはイベントを実施している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っています。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っています。年度替わりのクラス編成時にも、子どもが過ごしやすいクラスになるよう設定し、保護者への説明も行っています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題をパソコンにて管理しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を設け、一日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出しています。記録を必ず残し、休みのスタッフへも情報共有を図っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）にも記入し、検証しています。
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、モニタリングをして計画の見直しの必要性を判断しています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	総則通り行っている。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	現在はサービス担当者会議が行われていないため参加していないが、担当者会議があれば児発管が参加する予定。将来的には指導員の参加も検討していきたい。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎サービスがないこともあり、学校との情報共有は行っていないが、保護者から間接的に学校情報をもらうことはある。今後、必要に応じて学校との連携を検討していきたいです。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子さまも通所していないが、今後受け入れる場合は、主治医との連絡体制を考えていきたいです。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたいです。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	資料を提供できる体制は整っています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要に応じて東京都・荒川区が運営する公開研修や療育セミナーに積極的に参加し、その中で助言を受けたり、情報収集を行っています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していないが、保護者からの声も確認し、今後、必要に応じ検討していきたいです。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	荒川区の協議会等へ児発管兼管理者が年2回は参加し、連携をとっている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識しています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは特に実施していないため、今後、保護者と連携をとり、必要に応じ検討していきたい。また、実施する際は、ペアレントトレーニングの外部研修も受講し、適切な支援に繋げていきたいです。
保護者への説明	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明しています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを話せるように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングを行い回答するように心がけています。

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
責 任 等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会や保護者会は行っていないが、通所時に保護者の見学スペースを設けており、そこで保護者同士で情報交換や相談等を行っています。現在はコロナ禍のため、開催はできていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情・要望については、受けた時点で都度対応し早急に改善している。意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置は今後必要に応じ検討していきたいです。
非 常 時 等 の 対 応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等は発行していないが、長期休暇に行う特別プログラムの案内や新入社員紹介などは契約者全員に紙面で発信しています。また連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	運動道具や紙を使用して配慮していますが、それ以外は特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたいです。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたいです。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類は存在し、職員には周知していますが、保護者への周知はまだできていないため、今後、周知していきたいです。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に年2回通所の療育中に、全クラスにおいて避難訓練を実施しています。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	担当者が東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となり職員に講習しています。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	マニュアルも作成し、方法も組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、同意書のもと了承を得ている。 今現在、当事業所において拘束等は行われていない。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについては詳しく聴取しています。当事業所内で食物を口にする「おやつ」ではアレルギー源を含むものは提供していません。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していきたいです。	

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践しています。

保護者からの放課後等デイサービスにおけるアンケート集計結果（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI南千住

A：はい Bどちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	4	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	6	0	0		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18	1	0	0		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	3	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	7	#	0	それは私としては必要な支援ではないので、問題ないです。 今はコロナ禍なので難しいと思います。 必要ありません。	今後必要に応じて検討してまいります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	3	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	4	0	0		

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	#	0	今はコロナ禍なので難しいと思います 必要ありません。	いつでも見学が可能となっており、活動中に保護者同士が関われる場所となっています。 現在はコロナの影響により、見学はご遠慮頂いております。コロナが収束するまでもうしばらくお待ちください。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	5	0	0	苦情をしたことも言われた事もないのでわかりません。	お話を受けた際には迅速に対応をしております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	8	0	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	18	1	0	0		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	1	1	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	0	0	0		

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	0	0	0	子ども自身が行く！と意思を持って通所しています。	通所時からお子様の表情を確認し、活動内容に十分に気を付けております。 いつでもお子様が安心して楽しく活動が出来るようにさらに心掛けてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	17	1	0	0	イベントなどを定期的 に開催して下さり、通 所の楽しみが増えまし た。 縄跳び・跳び箱・鉄棒 など学校の体育授業で やる活動を中心に行っ てもらえるとうれし いです。できないと自信 をなくしてしまうた め、技術指導中心だと とても嬉しいです。学 校で跳び箱が自分だけ できなかったと自信を なくしたことがあった ので コーディネーショント レーニングも気になっ ているので、積極的に 入れて頂けるようお願い いたします。 ・高学年にはもう少し 負荷のある運動や運動 量を増やして欲しい。 少し物足りない	大変うれしいコメントありが とうございます。 保護者様とのコミュニケー ションを大切に、常に課題に 取り組める内容に工夫をして 参りたいと思います。